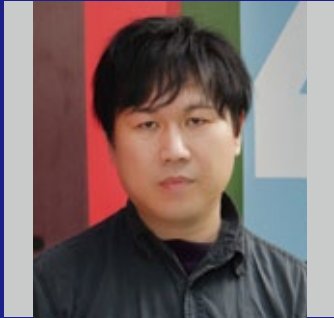


158の肖像 オーケストラ・プロジェクト 第40回を迎えて

—芥川也寸志、ベリオ、ブーレーズ 生誕100年の年に—



土屋 雄 Takéshi TSUCHIYA

東京音楽大学大学院修了。
作曲を湯浅譲二、池辺晋一郎、西村朗の各氏に、指揮を三石精一氏に、オンドマルトノを原田節氏に、長唄三絃を杵屋五三吉氏に師事。また IRCAM (フランス国立音響現代音楽研究所) で先端音楽表象と電子音響音楽を学ぶ。第13回現音作曲新人賞、第66回日本音楽コンクール作曲部門に入選。2008年度ヴァレンチノブッキ国際作曲賞(ローマ) 特別表彰を受賞。作品は日本音楽集団、CDMC からの委嘱作品等多数。また電子音響音楽分野では自作品の他、西村朗氏の作品において電子音響パートのプログラミング、細川俊夫氏のオペラでは電子音響制作を担当する他、多くの作曲家の作品制作にも携わっている。
その他近著に The OM Composer's Book vol.3 ~ Dialogue with OpenMusic in the process of composing Nothing that is not there and the Nothing that is [Editions DELATOUR & IRCAM (フランス)]、中ザワヒデキ、草刈ミカ 主宰による「S/N」から「こころの素描」[編集・発行: AI美芸研]等がある。日本現代音楽協会、日本電子音楽協会会員。

〔主要作品〕
仮想の楽園〜管弦楽のための〜
Beautiful Life 〜ピアノと管弦楽のための〜
「拡張されたピアノのための映像」
「I have not but I am and as I am, I am」
オルガンと8チャンネル・電子音響のための
「Nothing that is not there and the Nothing that is」チェロと電子音響のための
江戸川乱歩の小説にもとづく室内オペラ「RAMPO 2011」等



山本純ノ介 Junnosuke YAMAMOTO

b1958年(Tokyo)
幼少より祖父直忠、伯母杉山園子に音楽の手ほどきを受け、生活に則した実践音楽(しつけ音楽)を享受する。和声、対位法、作曲を長谷川良夫、北村昭、小林秀雄、松村禎三に師事。ピアノを伊達純、山崎冬樹に師事。松村に師事した東京藝術大学修士作品制作過程で、「音楽は崇高な禱りである」との理念に至る。師の強烈な影響のもと管弦楽の作曲に魅了され日本の交響管弦楽の「貌」を継続して研究する。平成7(1995)年度文化庁派遣芸術家在外特別研修員としてドイツ短期留学。研修地はベルリン、フランクフルト、シュタットガルド。D. シュネーベル、アンサンブルモデルン、H. ツェンダー、S. デモステネス氏等と研修、交流。「法顕伝交響曲」、「迦樓羅〜黎明の響〜」、交響曲3番「五重塔」、「第四交響曲鑑真寂靜〜1250年紀〜」等管弦楽を作曲。2004年国際交流基金により日独個展を実現後、韓国、中国、ギリシャなどとの国際交流音楽会に尽力する。ISCM リトアニア2022の招待作品が「鷲鏡」となり、リトアニア Stg. カルテット、箏独奏吉澤延隆、作曲家指揮で欧州初演。ベルリンフィルメンバー等による「ピアノのための絶対音楽」、「借景」等の室内楽を纏めたCD「来るべき汎音楽」出版。(FOCD2526*)無伴奏合唱組曲1番〜4番(Text: 西行)や「万象」「季霊」「二十億光年の孤独」など出版 (OGT)。千葉交響楽団、日本作曲家協議会各理事。日本ロシア音楽家協会運営委員、現代音楽協会会員、アプサラス副会長・松村賞運営委員。日本音楽コンクール入選、シルクロード国際コンクール優秀賞、芥川賞入選、第44回日本アカデミー賞優秀音楽賞等。平成10年千葉大学助教授、同12年度〜24年度東京藝術大学非常勤講師兼任、平成19年千葉大学教授。その後東京学芸大学連合大学院教授兼任。令和4年3月退官。令和6年3月まで放送大学客員教授。現在「音絵巻」代表。



平井正志 Masashi HIRAI

1957年東京生まれ
1980年東京藝術大学音楽学部作曲科卒業
1982年東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了
これまでに作曲を松本民之助、松村禎三、池野成の各氏に師事
2003年5月29日に自作の室内楽作品展を開催。2011年6月11日にフィンランドのヘルシンキにて、「REMINISCENCE」for Chamber orchestra を発表。2021年12月1日にオーケストラ・プロジェクト2021で「天馬夜空の海を翔る」Introduction and Scherzo for Piano and Orchestra を発表。
現在、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師
(財)ヤマハ音楽振興会 JOC 創作講座講師
アプサラス会員 オーケストラ・プロジェクト会員

〔主要作品〕
天馬夜空の海を翔る Introduction and Scherzo for Piano and Orchestra
春山白雨 “Storm of Spring Mountain” for Orchestra
境界 “Boundary” for Orchestra
“REMINISCENCE” for Chamber orchestra
Trio for Oboe, Cello and Piano
Rhapsody for Cello and Piano
“Promenade” for Flute and Piano
“Promenade2” for Violin, Cello and Piano
“Promenade 3” for String orchestra
“Promenade 4” for Clarinet and Piano
「絆」 バイオリンとピアノの為に無伴奏フルートの為の三章
梢 一三つの素描(ピアノ・ソロ)
風の声一三章(チェロ・ソロ)
陽光の足跡(ピアノ・ソロ)



石黒 晶 Sayaka ISHIGURO

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了。修了作品大学買い上げ。グイド・ダレツォ国際作曲コンクール、奏楽堂日本歌曲作曲コンクール、朝日作曲賞、神奈川芸術祭合唱コンクールに入賞・入選。和歌山県文化功労賞。
大学院修了作品《三つの沖縄の歌》で発表活動を開始。《ハッシャバイ・ソングス》《わらべうたのカタログ》など多くの合唱曲や《これが私の優しさです》《宮古島の二つの歌謡》ほか独唱曲も発表。民俗素材と現代詩歌への作曲という声楽創作の方向性は東京混声合唱団委嘱《愛のうた恋のうた》で一つの結実を見た。
Hi's Opera Company 委嘱のオペラ《みすゞ》はそれらの集大成として新国立劇場にて初演、音楽誌上でも高い評価を得た。器楽分野では無伴奏チェロのための《弦歌三章》は米カーネギーホール、ピアノのための《Code for Flowers》やハーブのための《琴華》も国内外で上演されている。室内楽にオンドマルトノ五重奏曲《田園詩》、ヴィオラとピアノによる《チュブ・チルキの呪文》など。オーケストラのための《シンフォニエッタ》がある。
NHK 学校音楽コンクールほか審査員も多数務める。神戸女学院大学音楽学部長・大学院音楽研究科長を経て神戸女学院大学名誉教授。
出版:『沖縄わらべうた』『紀州うた拍子』(カワイ出版)、『ハッシャバイ・ソングス』(音楽之友社)、『游／巴』(マザーアース)ほか。
CD:『アジアの唄声』(Camerata Tokyo)、『であるとあるで』『石黒晶作品集』(Giovanni)。